



古くからの医療も大切に

事情があり、15年前より休日は鴨川市にて、花作り農家の真似事をしています。カーネーション、キンギヨソウ、フリージャ、に今年はバラも加わりました。最近はやりのバイオテクノロジーの発達により、種々の新品種の作出の多さには驚かされます。毎年種苗会社のカタログには沢山の新種の掲載がみられます。然しながら数年後にはその殆どが消失し、なかには1年つつきりも稀ではありません。おそらくは、思った程の結果が得られなかつた為でしよう。無理をして作ったものはどうもうまくないようです。そのカタログから翌年の作付けを決める生産者はいい迷惑です。従来色素の関係で不可能とされてきた、青いバラが開発されたとのニュースがあります。どうももう少し様子を見たほうが無難かと思われます。

一方数十年前より変わらぬ人気を保つ品種もみられます。（カーネーションのフランシスコ、キンギヨソウの雪姫等）。どうも無理に作出了したものは欠点も多く、自然に改良された品種には及ばないようです。

我々の医療の世界にも以上のことがあてはまるようですが、如何でしょうか。医療技術、薬剤等、新しいものにとびついた為の失敗もあるように思えます。日本では新薬の承認が他国よりも遅く、その為の患者の不利益が指摘されます。またある先輩医師は、新薬は発売開始1年を経て安全性を確認してから自分の患者に使うと話していました。その位慎重でもいかとも考えられます。自分の農業経験によると、急な開発に依り不確実な結果のまま新しいことが正しいと思い込む危険もあるように思います。長年使用してきた、安全性の確認された医療技術、薬剤を上手に使いこなすのも医療の進歩かもしません。

ミレニアム millennium 2009 November 第31号

目 次

対 談

日本一魅力的な「健康県ちば」をつくろう!

千葉県知事 森田健作氏×千葉県医師会会长 藤森宗徳 1

地域医療連携パスについて

千葉県共用地域医療連携パスってなに? 5

特 集

ガマンしないで正しく知って 頭痛にサヨナラ!

6

新 風—千葉県の最新医療情報紹介—

子宮筋腫に対する動脈塞栓術

10

アスリートに聞く! ~スポーツとカラダづくり~

スポーツジャーナリスト 増田 明美さん

12

21世紀を「健康の世紀」に…。

その願いから「ミレニアム（新千年紀）」と名付けました。

医と食育

子どもたちに正しい生活習慣を!

14

健康ひろば千葉

甲状腺の病気

新型インフルエンザあれこれ

16

スポーツコーナー

スポーツ前後の食事

18

千葉県インフォメーション

麻しん・風しんにからならないために!

19

こころのカルテ

お酒の話

20

こども相談室

あかちゃんとおしゃぶり

21